

# “マイケル・サンデル氏と語る、分断を超えた先にある共生未来”

新型コロナウィルスの世界的流行によって顕在化した格差と分断をどうすれば乗り越えることができるのか。本シンポジウムではその問いの答えを「白熱教室」で我が国でも著名なアメリカの政治学者・ハーバード大学教授のマイケル・サンデル氏と共に考えようと思います。キーワードは“共通善”と“謙虚”。前半はサンデル氏による基調講演、後半ではダイバーシティ、経済と環境の調和そしてグローバリズムの先にある共生可能な未来社会等について、サンデル氏を含めた有識者と議論していきます。

2021年12月9日(木) 9:30～11:00

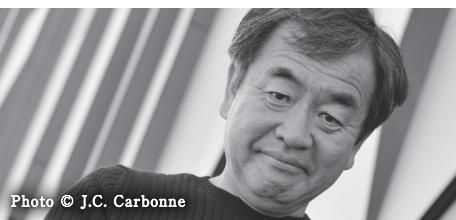
参加費：無料

参加定員：5,000名



ハーバード大学教授 政治学者  
基調講演 マイケル・サンデル氏

【パネルディスカッション】サンデル氏と共に未来を読み解く登壇者



東京大学教授・理事 石井 菜穂子氏

建築家・東京大学特別教授・名誉教授 隈 研吾氏

独立研究者・著述家・パブリックスピーカー 山口 周氏

モダレーター：植村公一（株式会社インデックスコンサルティング代表取締役社長）

<主催>



<後援> 財務省、国土交通省、文部科学省、都市再生機構、国連協力機構、国連地域開発センター、海外交通・都市開発事業支援機構、アフリカ開発銀行、日本経済新聞社、日経アーキテクチュア、日経コンストラクション

<特別協賛> インデックス株式会社、株式会社インデックスコンサルティング、株式会社インデックスストラテジー、インフロニア・ホールディングス株式会社、株式会社熊谷組、前田建設工業株式会社

<協賛> 株式会社エムケイ興産、キユーピー株式会社、佐藤薬品工業株式会社、新菱冷熱工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、一般社団法人西日本閉鎖性海域連携推進機構、株式会社フジタ、マテックス株式会社、三井住友ファイナンス&リース株式会社、三菱地所株式会社、住友重機械エンバイメント株式会社、JESCOホールディングス株式会社（随時追加予定）

## 登壇者プロフィール



### 基調講演 マイケル・サンデル氏

ハーバード大学教授  
哲学者、政治哲学者、倫理学者

1975年22歳でアメリカ合衆国マサチューセッツ州ウォルサム市にあるブランディス大学卒業後、ローズ奨学生として、英国オックスフォード大学ペリオール・カレッジにおいて学ぶ。1981年28歳でオックスフォード大学から、Ph.D.(博士号)の学位を授与される。2002-2005年、米国大統領生命倫理評議会委員。主な著書『これからのはじめ』(新著『実力も運のうち』(いずれも早川書房)。2018年アストゥリアス皇太子賞社会科学部門受賞。



### モデレーター 植村 公一

一般社団法人建設プロジェクト運営方式協議会副会長  
一般社団法人環境未来フォーラム理事、一般社団法人PPP推進支援機構副会長  
株式会社インディックスコンサルティング代表取締役社長

1981年名城大学理工学部建築学科卒、1983年カリフォルニア芸術大学建築学部卒。1994年株式会社インターナショナルデザインインクスチェンジ設立、代表取締役社長。2002年社名を株式会社インディックスコンサルティングに変更、現在に至る。愛知県政策顧問(2012年~)、前国土交通省政策参与。本シンポジウム主催3法人設立に関わり、いずれも理事を務める。

## プログラム

1. 主催者あいさつ 一般社団法人建設プロジェクト運営方式協議会 代表理事 花村 邦昭

2. 3つの一般社団法人の紹介

3. 基調講演 マイケル・サンデル氏 政治哲学者、ハーバード大学教授 (ライブ同時通訳)

4. パネルディスカッション (ライブ同時通訳)

#### <パネリスト>

- マイケル・サンデル氏 政治哲学者、ハーバード大学教授
- 石井菜穂子 氏 東京大学教授・理事、同グローバル・コモンズ・センター ダイレクター
- 隅 研吾 氏 建築家、東京大学特別教授・名誉教授
- 山口 周 氏 独立研究者、著作家、パブリックスピーカー

#### <モデレーター>

- 植村 公一 一般社団法人建設プロジェクト運営方式協議会副会長、一般社団法人環境未来フォーラム理事、一般社団法人PPP推進支援機構副会長

5. 閉会 一般社団法人環境未来フォーラム 代表理事 前田 武志

お申込・ご参加はPeatixの専用ページで。

<https://michaelsandel20211209.peatix.com/view>



お問い合わせ:一般社団法人建設プロジェクト  
運営方式協議会 事務局  
メールアドレス:info@cpds-c.jp